

2022年度 授業シラバスの詳細内容

○基本情報			
科目名	ゼミナールⅣ（Seminar Ⅳ）		
ナンバリングコード	E41204	大分類 / 難易度 科目分野	経営経済学科 専門科目 / 総合レベル ゼミナール
単位数	4	配当学年 / 開講期	4 年 / 通年
必修・選択区分	必修 ※入学年度及び所属学科コースで異なる場合がありますので、学生便覧で必ず確認してください。		
授業コード	E002710	クラス名	竹田ゼミ
担当教員名	竹田 隆行		
履修上の注意、履修条件	スポーツマネジメントの基本を学びます。常に問題意識を持って取り組んで欲しい。自分の強みを見つけ伸ばしてもらいたい。振り返るな、前を向いて進め！ この気持ちを忘れないで欲しい。ゼミは、発表・討論を通じて学ぶ場です。ゼミ生は、スポーツに関連するビジネス環境を注意深く観察し、自分なりの問題意識を持って毎回のゼミに出席をして下さい。疑問に思ったことは必ず質問して下さい。聞くは一時の恥、聞かぬは一生の恥です。		
教科書	ゼミで案内します。		
参考文献及び指定図書	ゼミで案内します。		
関連科目	スポーツビジネス・マネジメント概論、スポーツリテラシーⅣ・Ⅵ、スポーツの経営学、地域とスポーツ		

○基本情報		
授業の目的	ここ数年、スポーツの専門化、多様化により、スポーツビジネスが注目されるようになってきました。スポーツビジネスの領域は、オリンピックやFIFAワールドカップのようなビッグビジネスから地域レベルのスポーツ事業と非常に幅があります。 我が国のスポーツビジネスは、これからのビジネスです。学問としても新たな領域です。ケーススタディを通じて、現象を蓄積していき学問として体系化を図るとともに、スポーツビジネスに関するナレッジを共有していきます。本ゼミでは年次を追って、スポーツビジネスに関するナレッジの共有と論文作成を目的とします。	
授業の概要	卒業論文の作成を行います。	
授業の運営方法	(1) 授業の形式	「演習等形式」
	(2) 複数担当の場合の方式	「該当しない」
	(3) アクティブ・ラーニング	「プレゼンテーション」
地域志向科目	カテゴリー Ⅲ：地域における課題解決に必要な知識を修得する科目	
実務経験のある教員による授業科目	ゼミⅣを担当する教員（竹田隆行）は、社団法人スポーツ産業団体連合会（現：公益社団法人スポーツ健康産業団体連合会）在職中に、スポーツイベントのマネジメントやスポーツビジネス講座の開講、スポーツに関する調査事業を担当。在職中に得たマネジメントの知識や経験を活かして、スポーツマネジメントについて説明をします。日本体育学会（体育経営管理専門領域）、日本体育・スポーツ経営学会に所属。	

○成績評価の指標		○成績評価基準（合計100点）		
到達目標の観点	到達目標	テスト （期末試験・中間確	提出物 （レポート・作品等）	無形成果 （発表・その他）
【関心・意欲・態度】	スポーツマネジメントに必要な知識や倫理観を身に付けるとともに、目的意識を持って自発的に学習する能力を身につける。		10点	
【知識・理解】	スポーツマネジメントの実践的知識を習得し、それらを総合・活用して問題解決を図るリテラシーを身につける。		30点	
【技能・表現・コミュニケーション】	チームワークを尊重しつつ主体的に活動することができ、組織の中で結果を出す能力を身につける。			10点
【思考・判断・創造】	変容する社会において、多角的に考察・分析し、スポーツマネジメントの現場で課題解決できるマネジメント能力を活かし、新たな価値創造にチャレンジする能力を身につける。		40点	10点

○成績評価の補足（具体的な評価方法および期末試験・レポート等の学習成果・課題のフィードバック方法）	
[Sレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標を満たしている。 [Aレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標をほぼ満たしている。 [Bレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標をかなり満たしている。 [Cレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標を一部分満たしている。 最終授業時に全体向けにフィードバックを行う。	

○その他

2022年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画	科目名 担当教員	ゼミナールⅣ（Seminar Ⅳ） 竹田 隆行	授業コード	E002710
学修内容				
1. 論文指導				
卒慧遠のテーマに基づいて、論文作成にとりかかります。				
予習	確定した卒論の研究テーマ、および研究計画のプレゼン資料を作成する。			約2時間
復習	講義で指摘された問題点を改善する。			約2時間
2. 論文指導				
卒慧遠のテーマに基づいて、論文作成にとりかかります。				
予習	卒論のテーマに関連する先行研究のレビューを行う。			約2時間
復習	講義で指摘された問題点を改善する。			約2時間
3. 論文指導				
卒慧遠のテーマに基づいて、論文作成にとりかかります。				
予習	卒論のテーマに関連する先行研究のレビューを行う。			約2時間
復習	講義で指摘された問題点を改善する。			約2時間
4. 論文指導				
卒慧遠のテーマに基づいて、論文作成にとりかかります。				
予習	卒論のテーマに関連する先行研究のレビューを行う。			約2時間
復習	講義で指摘された問題点を改善する。			約2時間
5. 論文指導				
卒慧遠のテーマに基づいて、論文作成にとりかかります。				
予習	卒論のテーマに関連する先行研究のレビューを行う。			約2時間
復習	講義で指摘された問題点を改善する。			約2時間
6. 論文指導				
卒慧遠のテーマに基づいて、論文作成にとりかかります。				
予習	卒論のテーマに関連する先行研究のレビューを行う。			約2時間
復習	講義で指摘された問題点を改善する。			約2時間
7. 論文指導				
卒慧遠のテーマに基づいて、論文作成にとりかかります。				
予習	卒論のテーマに関連する先行研究のレビューを行う。			約2時間
復習	講義で指摘された問題点を改善する。			約2時間
8. 論文指導				
卒慧遠のテーマに基づいて、論文作成にとりかかります。				
予習	卒論のテーマに関連する先行研究のレビューを行う。			約2時間
復習	講義で指摘された問題点を改善する。			約2時間

○授業計画	科目名 担当教員	ゼミナールⅣ（Seminar Ⅳ） 竹田 隆行	授業コード	E002710
学修内容				
9. 論文指導				
卒慧遠のテーマに基づいて、論文作成にとりかかります。				
予習	卒論のテーマに関連する先行研究のレビューを行う。			約2時間
復習	講義で指摘された問題点を改善する。			約2時間
10. 論文指導				
卒慧遠のテーマに基づいて、論文作成にとりかかります。				
予習	卒論のテーマに関連する先行研究のレビューを行う。			約2時間
復習	講義で指摘された問題点を改善する。			約2時間
11. 論文指導				
卒慧遠のテーマに基づいて、論文作成にとりかかります。				
予習	卒論のテーマに関連する先行研究のレビューを行う。			約2時間
復習	講義で指摘された問題点を改善する。			約2時間
12. 論文指導				
卒慧遠のテーマに基づいて、論文作成にとりかかります。				
予習	卒論のテーマに関連する先行研究のレビューを行う。			約2時間
復習	講義で指摘された問題点を改善する。			約2時間
13. 論文指導				
論文の発表資料の指導を行います。				
予習	卒論のテーマに関連する先行研究のレビューを行う。			約2時間
復習	講義で指摘された問題点を改善する。			約2時間
14. 論文指導				
論文の発表資料の指導を行います。中間報告の準備を行います。				
予習	卒論のテーマに関連する先行研究のレビューを行う。			約2時間
復習	講義で指摘された問題点を改善する。			約2時間
15. 論文指導				
作成した論文の発表を行います（中間報告）。				
予習	卒論作成に取り組む。発表用のパワーポイントの作成、および発表原稿の作成。			約2時間
復習	講義で指摘された問題点を改善して、卒業論文を完成させる。			約2時間
16.				
作成した論文の発表を行います（中間報告）。				
予習	卒論作成に取り組む。発表用のパワーポイントの作成、および発表原稿の作成。			約2時間
復習	講義で指摘された問題点を改善して、卒業論文を完成させる。			約2時間

2022年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画		科 目 名	ゼミナールⅣ（SeminarⅣ）	授業コード	E002710
		担当教員	竹田 隆行		
学修内容					
17. 論文指導					
卒慧遠のテーマに基づいて、論文作成にとりかかります。					
予習		講義で指摘された問題点を改善する。			約2時間
復習		講義で指摘された問題点を改善する。			約2時間
18. 論文指導					
卒慧遠のテーマに基づいて、論文作成にとりかかります。					
予習		講義で指摘された問題点を改善する。			約2時間
復習		講義で指摘された問題点を改善する。			約2時間
19. 論文指導					
卒慧遠のテーマに基づいて、論文作成にとりかかります。					
予習		講義で指摘された問題点を改善する。			約2時間
復習		講義で指摘された問題点を改善する。			約2時間
20. 論文指導					
卒慧遠のテーマに基づいて、論文作成にとりかかります。					
予習		講義で指摘された問題点を改善する。			約2時間
復習		講義で指摘された問題点を改善する。			約2時間
21. 論文指導					
卒慧遠のテーマに基づいて、論文作成にとりかかります。					
予習		講義で指摘された問題点を改善する。			約2時間
復習		講義で指摘された問題点を改善する。			約2時間
22. 論文指導					
卒慧遠のテーマに基づいて、論文作成にとりかかります。					
予習		講義で指摘された問題点を改善する。			約2時間
復習		講義で指摘された問題点を改善する。			約2時間
23. 論文指導					
卒慧遠のテーマに基づいて、論文作成にとりかかります。					
予習		講義で指摘された問題点を改善する。			約2時間
復習		講義で指摘された問題点を改善する。			約2時間
24. 論文指導					
卒慧遠のテーマに基づいて、論文作成にとりかかります。					
予習		講義で指摘された問題点を改善する。			約2時間
復習		講義で指摘された問題点を改善する。			約2時間

○授業計画		科 目 名	ゼミナールⅣ（Seminar Ⅳ）	授業コード	E002710
		担当教員	竹田 隆行		
学修内容					
25. 論文指導					
卒慧遠のテーマに基づいて、論文作成にとりかかります。					
		予習	講義で指摘された問題点を改善する。		約2時間
		復習	講義で指摘された問題点を改善する。		約2時間
26. 論文指導					
卒慧遠のテーマに基づいて、論文作成にとりかかります。					
		予習	卒論作成に取り組む。発表用のパワーポイントの作成、および発表原稿の作成。		約2時間
		復習	講義で指摘された問題点を改善する。		約2時間
27. 論文指導					
卒慧遠のテーマに基づいて、論文作成にとりかかります。					
		予習	卒論作成に取り組む。発表用のパワーポイントの作成、および発表原稿の作成。		約2時間
		復習	講義で指摘された問題点を改善する。		約2時間
28. 論文指導					
卒慧遠のテーマに基づいて、論文作成にとりかかります。					
		予習	卒論作成に取り組む。発表用のパワーポイントの作成、および発表原稿の作成。		約2時間
		復習	講義で指摘された問題点を改善する。		約2時間
29. 論文指導					
卒慧遠のテーマに基づいて、論文作成にとりかかります。					
		予習	卒論作成に取り組む。発表用のパワーポイントの作成、および発表原稿の作成。		約2時間
		復習	講義で指摘された問題点を改善する。		約2時間
30. 論文指導					
作成した論文の発表を行います。					
		予習	卒論作成に取り組む。発表用のパワーポイントの作成、および発表原稿の作成。		約2時間
		復習	講義で指摘された問題点を改善して、卒業論文を完成させる。		約2時間
31.					
		予習			約2時間
		復習			約2時間
32.					
		予習			約2時間
		復習			約2時間